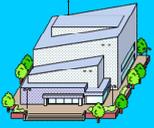


清水町地域交流センター

静岡県埋蔵文化財センター

令和6年8月20日(火)



出前授業レポート



「実物に直接触れることで、歴史がより身近に感じられる良い機会になったと思います。」

清水町地域交流センターが、青少年健全育成活動の一環として町内在住の小学生を対象に社会教育に関する学習・体験を通じて学習意欲や創造力の向上、異年齢間交流を図る目的で、夏休みキッズわくわく体験教室の小学3年～6年の25人が、勾玉作りを体験しました。

勾玉作り体験

勾玉作りをする前に、勾玉や古墳について簡単に話しました。勾玉が日本固有のもので、形に特徴があり、メノウやヒスイなどの硬い石を時間をかけて磨いたことなどを説明し、大昔のアクセサリーとしての勾玉について学びました。次に、勾玉作りの手順を画像を見ながら確認しました。手順を理解したところで作業に入りました。頭ではイメージできていたようですが、実際作り始めると、なかなか丸くならず苦戦しました。途中で飽きてしまうかと思っていたら、あまり話もせず真剣に磨いていて、時間内で何とか最終工程まで出来、完成させました。



「先生がやさしかった。」

「新しい体験で楽しかった。」

「新しい友だちが出来た。また参加したい。」

「昔の人の大変さがわかった。」



「先生がやさしかった。」



「新しい体験で楽しかった。」



「新しい友だちが出来た。また参加したい。」



「昔の人の大変さがわかった。」



担当職員さんの感想

「実物に直接触れることで、歴史がより身近に感じられる良い機会になったと思います。授業内容など、大変勉強になりました。説明と作業のバランスがちょうど良かったです。センターの職員さんは、言葉の選び方が丁寧でしたので、子どもたちにもよく伝わっていたと思います。ありがとうございました。また是非次回もよろしくお願いいたします。」